

【Hash Shot 取り扱い説明書】

[撮影/保存]

①アルバムを作成。

②hash shot内カメラアイコンをタップし撮影開始

撮影と同時にハッシュ値が計算され、

「写真は画像データ」に、インデックス写真は「index」に、

写真のハッシュ値及びエクスポート時に生成される「all hash」(「index」のハッシュ値)は「Hash List」に、それぞれ保存されます。

「Hash List」には写真個々のハッシュ値と、エクスポート時の「index」のハッシュ値が記録されます。(全て削除、編集不可)

尚、これらのハッシュ値の活用については、下記データの証明方法を参考にご活用下さい。

[スマホ内部ストレージにエクスポート]

①エクスポートボタンをタップし、保存先を選択します。

②エクスポート時に「写真(写真一覧)」・「index(サムネイル画像とハッシュ値)」

・「all hash」(「index」のハッシュ値)」

という3つのファイルがセットで一つのアルバムに格納され保存されます。

③保存先よりメディアなどへコピー、移動ができます。

[保存先/エクスポートについて]

・1つめのアルバムで撮影後、2つめのアルバムで撮影をするとHash Listには1つめのアルバムのハッシュ値に続いて

2つめのアルバムのハッシュ値が並び、その後エクスポートしたAll HashがHash Listに記載されるため、

Hash Listの中でAll Hashが前後した表示になります。このため、アルバムはひとつずつ作成し、エクスポート後、

アルバムの削除をしてか

ら新しいアルバムの作成をされる事を推奨します。

・エクスポート前に削除ボタンを押してしまうとアルバムごと画像が消えてしまうため、

画像が消えHash Listにハッシュ値だけが残ります。削除はエクスポートの確認後に行ってください。

[エクスポートについて]

①android版をご使用の際は

内部ストレージ、外部ストレージへのエクスポート(PC、USB、Reader Writer+SDカードなど)の際には事前にファイルマネージャーの確認を行ってください。

エクスポート先に「ファイルマネージャー」がない場合はGoogle Storeより「ファイルマネージャー」をインストールしてください。

②ios版をご使用の際はプリインストールされている「ファイル」をご活用ください。

なお、クラウドへのアップロードにはGoogle driveなどをご活用ください。

エクスポート先には同じ名前のアルバムを作成し、エクスポートされますと便利に活用できます。

[画像の削除について]

Index/ハッシュ値のタブのみで削除可能です。

[データ証明方法]

「Hash Shot」使用者から、データ提供先に対しての非改ざん証明方法として、

提供したアルバム内のAll Hash(indexのハッシュ値)が

アプリ内の「Hash List」に記録されているハッシュ値と同じである事を提供先に提示する事で、

indexの情報(撮影した全ての写真である事と、その順番)が正しい事が証明されます。

(「Hash List」内に記録されているハッシュ値をスクリーンショットし、提供アルバムに同梱する事も可能です)

もし写真に疑義が生じている場合は提供先に写真の※ハッシュ値を計算していただき

index内に記録されているハッシュ値と、計算されたハッシュ値を比較する事で非改ざんである事の証明ができます。

※一般的なハッシュ値計算ツール(SHA256)